

備後セカンドライフくらぶだより

《「デニムのカイハラ」・「常石のバイオマス発電」工場見学》

9月9日（火）、福山市新市町常金丸へ本社を持つカイハラ産業（株）三和工場と常石造船グループが経営するツネイシグリーンエナジー（株）の工場見学へ21名の参加をしていただきました。

最初に訪問したのが「カイハラ産業（株）」で、世界的にも有名な「デニムのカイハラ」と言われる企業に成長されています。国内ではトップシェアを誇り、国内外の多くの有名ブランドからも高い評価を受けているデニム生地メーカーです。

工場の生産ラインは、原材料である原綿（主にアメリカ・オーストラリア産）から完成出荷に至るまで紡績・染色・糊付け・織布・検査（目視）などを殆どどの工程が自動化され昼夜無人で稼働している設備に驚きました。

工程間の搬送設備や自動倉庫などは国内メーカー品が導入されておりましたが、主要工程の機械は大半が海外メーカーの設備で年間の設備投資額も約7億されているようです。

製造ラインで驚いたことですが、1つは原綿（直径10μ～20μで30mm）の強度試験機。2つ目は織布の目視検査でしたが、目視検査に代替するセンサーによる検査工程の無人化にも挑戦されており感動の連続でした。



カイハラ三和工場前にて

次に訪問したのが「ツネイシグリーンエナジー（株）」です。この会社は常石造船グループが再生エネルギー開発の視点から地域の特性を活かした公民連携の事業として神石高原町へバイオマス発電所を立ち上げています。

地元の神石高原町には森林の間伐材や未利用材が多く、これらを粉碎したチップを燃焼させて790KW/Hの電力を生み出されています。尚、チップを熱分解し可燃性ガスを生成する熱源を利用して、隣接している「湯くら」の温泉へお湯を供給されておりました。今後とも再生エネルギーの有効利用は地球規模で大きなテーマであると感じました。



カイハラ三和工場



バイオマス発電工場前



燃料チップ置場前



燃料チップ



食事会場

「第6期バラオーナー申込について」

備後セカンドライフくらぶでバラオーナーの募集に対して9組13株の申込がありました。場所は第5期と同じ1段目北側⑩ブロックの予定ですが、変更になるかも知れません。